

OBIHIRO

NANSHO

Baseball

6月16日 夏の甲子園予選へ向けた決起集会「下宿クラブ」を実施しました！



先日、久しぶりに下宿クラブを実施しました。今回は、夏の甲子園予選を目前に控えた決起集会として行われ、チームとして気持ちを一つにする大切な時間となりました。

下宿クラブとは、親元を離れて下宿生活を送っている部員たちが、監督と一緒に外食をしながら交流を深める、本校野球部ならではの取り組みです。普段の練習とは違った環境で会話を交わし、精神面でもリフレッシュしながら結束を高めることを目的としています。

今回は、1年生2名が初めて参加しました。緊張した様子も見られましたが、先輩たちが温かく迎え入れ、終盤には自然と笑顔も増えていました。そのうちの1名は料理が得意で、お好み焼き・もんじゃ焼き・焼きそば作りを担当。手際よく焼き上げる姿に、周囲からは驚きの声が上がリ、味も大好評。逸材を発掘しました☆



今回お世話になった道頓堀様では、キャンペーン期間中ということもあり、割引や特典付きのスクラッチくじを引かせていただきました。スクラッチをめくるたびに歓声が上がリ、会場は終始大盛り上がりでした。

夏の甲子園予選を前に、改めて目標を確認し、仲間との絆を深めることができた今回の下宿クラブ。この良い雰囲気と一体感を力に変え、全員で大会に臨んでいきます。



6月11日 北見遠征を実施しました ～甲子園予選へ向けて～

先日、本校野球部は2・3年生が北見遠征1年生は本校で練習試合を実施し、複数の練習試合を通してチーム力の向上と個々の課題克服に取り組みました。今回の遠征では、出発前に選手が「北見遠征目標シート」を作成し、それぞれが遠征の目的と目標を明確にしたうえで臨みました。ただ試合をこなすのではなく、「何を確認し、何を成長させるのか」を一人ひとりが意識して遠征に参加しました。

また、宿泊先のホテルではミーティングを行い、「チャンスに強い人とはどんな人か」をテーマに全員で考え、意見を共有しました。

- ・ チャンスに強い人はどのようなメンタルを持っているのか
- ・ 人としてどのような在り方をしているのか
- ・ 普段どのような日常を過ごしているのか

について真剣に話し合いました。

監督からは、チャンスで力を発揮するために大切なこととして、

- ① 状況と頭の整理(事前準備)
- ② 集中力の維持
- ③ 闘志と冷静さの両立

の3点について話がありました。

選手たちからは、「これまで練習してきたことの成果を確認することができた」「自分たちの成長を実感できた」という前向きな振り返りが多く聞かれ、非常に充実した遠征となりました。また、遠征期間中は宿泊先の皆様に温かく迎えていただき、快適な環境の中で活動することができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。いよいよ今後は組み合わせ抽選を経て、6月25日から始まる夏の甲子園予選に臨みます。ここまで積み重ねてきた努力と成長を結果として形にできるよう、一人ひとりが謙虚な姿勢を忘れず、心をそろえて戦ってまいります。

これからも南商野球部への温かいご声援をよろしくお願いいたします。「心ひとつに。」

夏の舞台で、これまでの挑戦の成果を存分に発揮できるよう全力で戦います。🏆🔥



真剣に話し合う部員たち

6月3日 「足」が変われば、プレーが変わる！

先日の日曜日、本校野球部では「とちち足の相談所」の五十嵐さんをお招きし、「足について」の講演会を実施しました。

五十嵐さんは監督の小学校・中学校時代の同級生で、以前は理学療法士として活躍されていました。現在は「足の相談所」を運営し、プロスポーツ選手やオリンピックレベルのアスリートを担当するほか、海外にも顧客を持つなど、第一線で活躍されている足のスペシャリストです。

講演では、「足はすべての土台である」というお話が特に印象的でした。走る、投げる、打つ——野球のあらゆる動作は足から始まります。普段はあまり意識しない部分ですが、改めて足の重要性を実感する貴重な機会となりました。

また、選手たちが最も驚いたのは靴紐の結び方です。同じ靴を履いていても、紐の締め方を少し変えるだけで姿勢や重心の位置、体の感覚が大きく変化することを体験しました。実際に体を動かしながら確認すると、その違いは一目瞭然。選手たちからは驚きの声が上がっていました。

講演後には、「なんだか走りやすい！」「足が速くなるかもしれない！」と、どこかうキウキした表情を見せる選手たちの姿も見られました。技術や体力の向上だけでなく、自分の体について学ぶことも競技力向上には欠かせません。

今回学んだことを日々の生活や練習に生かし、より良いコンディションで夏の大会に向かっていきたいと思えます。

五十嵐さん、お忙しい中ご来校いただき、貴重なお話と実践指導をありがとうございました。選手・指導者一同、学びの多い充実した時間となりました。



5月27日 メンタル強化合宿を実施しました！

5月22日から24日までの3日間、本校野球部ではメンタル面の強化を目的とした合宿を実施しました。今回の合宿では、本校野球部メンタルコーチである 峰 幸代 さんをお招きし、2回にわたる講習に加え、試合や練習をとおしてアドバイスや振り返りミーティングを行っていただきました。非常に濃密で、学びの多い3日間となりました。

峰さんは、北京オリンピック・東京オリンピックのソフトボール日本代表として金メダルを獲得し、日本のプロソフトボール界でもトップクラスの実績を誇るレジェンドです。トップアスリートとして培ってきた経験を、選手たちに惜しみなく伝えてくださいました。

講習では、単なる知識や情報だけではなく、

- ・自己分析から狙い球を絞る考え方
- ・試合での声の出し方
- ・気持ちの高め方
- ・ルーティーンの大切さと定着させる方法
- ・テキパキと動くためのマインドづくり

など、実践的で具体的な内容を数多く学びました。



中でも最も盛り上がったのは、「テキパキマインドづくり」の一環として行われた選手全員参加の「あっち向いてホイ大会」！

ただのレクリエーションではなく、“瞬時に切り替える力”や“全力で取り組む姿勢”を養う大切なトレーニングとして行われ、試合前にも実施しました。グラウンドには大きな笑い声と真剣な表情があふれ、チームの一体感もさらに高まりました。

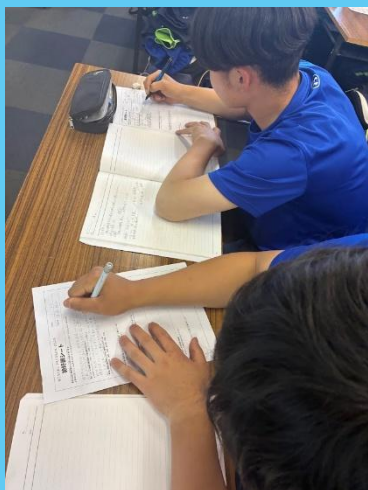
夜には個人相談会「みねの部屋」が開かれ、悩める(?)選手たちが峰さんに個人相談。いろいろなことを話していましたね。すごい実績と経験を持ちながら、気さくにやさしく接してくれる峰さん。すっかりウチのチームの「お姉さま」的な存在となりました。

今回のメンタル合宿を通して、チームとして多くの「約束事」が生まれました。

ひとつひとつを確実に実行に移し、夏の大会で成果として表せるよう、これからも全員で取り組んでいきます。

今後とも本校野球部への応援をよろしくお願いいたします。





←22時30分まで開かれた個人相談室「みねの部屋」

←ワークシートを記入しながらメンタル学習。



5月21日 春季大会終了 — 準決勝進出、そして夏へ —

春季大会十勝支部予選は、準決勝まで勝ち進むことができました。

準決勝では 北海道帯広三条高等学校 と対戦し、5-16(7回コールド)で敗戦。悔しさの残る結果とはなりましたが、この大会を通してチームが積み上げてきたもの、そして夏へ向けた可能性を強く感じることができました。

今大会までの練習では、「確実に送るバント」「盗塁」「ストレートへの対応」を大きな課題・テーマとして取り組んできました。

そして大会では、その成果が随所に表れました。送りバントの成功、積極的な走塁と盗塁、速球への力強いスイング。選手たちは、冬から積み重ねてきた練習を“試合の中で発揮する”という大きな成長を見せてくれました。

また、投手陣ではリーダー・川原(3年)を中心に、2年生投手陣も奮闘。苦しい場面でも腕を振り続け、多くの経験を積むことができました。この経験は、必ず夏につながる財産になるはずです。

もちろん、課題もたくさん見つかりました。しかし、それは「伸びしろ」が明確になったということでもあります。夏までに何を磨くべきか。どこを鍛えれば勝負できるのか。チーム全員がはっきりと見えた大会でした。

あとは成長するのみです。

たくさんの応援・声援、本当にありがとうございました。

夏、さらに成長した姿をグラウンドで見せられるよう、チーム一丸となって努力を続けていきます。引き続き、応援よろしく願いいたします。

5月14日 春季大会十勝支部予選 準決勝進出！

春季大会十勝支部予選において、一回戦で北海道帯広緑陽高等学校と対戦し、延長 11 回タイブレークの末、8-7 で勝利しました。最後までどちらに転ぶかわからない激戦となりましたが、選手たちは苦しい場面でも声を掛け合い、粘り強く戦い抜いてくれました。

続く二回戦では、北海道本別高等学校に 13-2 (6 回コールド) で勝利し、準決勝進出を決めました。

ここまで勝ち進むことができたのは、球場で大きな声援を送ってくださった保護者の皆さま、関係者の皆さま、そして応援して下さるすべての方々のおかげです。本当にありがとうございます。皆さまの声援が、選手たちの力になっています。

この2試合、決してすべてが思い通りだったわけではありません。苦しい展開やミスもありました。しかし、その中でもあきらめずに、一球一球に食らいつき、粘り強く戦い続けたことで、夏の大会のシード権を獲得することができました。選手たちの成長を感じる大会となっています。

そして土曜日はいよいよ準決勝。相手は北海道帯広三条高等学校です。

挑戦者として、一戦必勝で戦います。引き続き、温かいご声援をよろしく願います！

4月22日 新たな出発

この春、南商野球部に新たな力が加わりました。新入部員は選手・マネージャー合わせて 16 名！フレッシュなエネルギーがチームに流れ込み、一気に雰囲気が変わっています。さらに、これまでにない男子マネージャーの加入。グラウンドの内外から「勝ち」にこだわる集団へと進化しています。

現在は、毎週のように練習試合を重ねる日々。連戦の中で疲労が溜まる厳しい状況ですが、それでも選手たちは下を向きません。苦しい時こそ声を出し、仲間を支え、自分を奮い立たせるタフな選手たちに育ってほしい！一試合ごとに、それぞれ貴重な経験を重ねています。うまくいかないこともあるだろうけど、ちゃんとそれらに向き合って、逃げずに自分を超えてほしいと思っています。

そして、いよいよ春季大会が目前に迫ってきました。冬を越え、鍛え上げてきた力を発揮する舞台。どんな戦いを見せてくれるのか、期待は高まるばかりです。

ゴールデンウィークも試合が続きます。一戦一戦が勝負、一球一球に意味がある。すべてはこの先につながる戦いです。ぜひ、グラウンドでその成長と熱さを感じてください。

熱いご声援を、よろしく願います。

4月2日 久々の更新、すみません

しばらく更新が滞ってしまい、大変申し訳ありませんでした。今後は活動の様子をこまめにお伝えできるように努めてまいります。

さて、この間、選手たちは長い冬のトレーニング期間を乗り越え、いよいよシーズンインを迎えました。雪に覆われた環境の中でも、基礎体力の向上や技術の反復に地道に取り組み、それぞれが自分と向き合いながら成長を積み重ねてきました。厳しい冬を越えた今、その成果を試す時期に入っています。

先日、浦河高校へ遠征を行い、実戦形式の中で冬のトレーニングの成果を確認しました。久々の対外試合ということもあり、最初は硬さも見られましたが、徐々に動きも良くなり、これまで取り組んできたことが随所に表れていました。一方で、課題も明確になり、今後に向けた大きな収穫のある遠征となりました。

また、夜にはミーティングを行い、攻撃や守備について選手同士で意見を出し合いました。プレーの意図や判断の基準を言葉にすることで、お互いの考えを理解し合い、「チームとしてどう戦うか」という野球観の共有を図る貴重な時間となりました。このような対話の積み重ねが、試合での一体感や判断力につながっていくと感じています。

さらに今回の遠征では、浦河高校の選手たちと混成チーム(Mix チーム)を組み、試合を行う機会にも恵まれました。普段とは異なる仲間とプレーすることで、新たな気づきや刺激を得るとともに、学校の枠を越えた交流を深めることができました。野球を通じて人とつながることの大切さを改めて実感する機会となりました。

シーズンは始まったばかりです。今回見えた成果と課題の両方を糧に、一戦一戦を大切にしながら、チーム一丸となって成長を続けていきます。今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。

＊ 3月1日 卒業式 — 6名の部員が巣立ちました —



3月1日、本校の卒業式が挙行されました。野球部からは、マネージャー2名を含む6名の部員たちが晴れて卒業の日を迎えました。

式を終えた彼らの表情は、とても晴れやかで、やりきった者だけが見せる誇りに満ちた「いい顔」をしていました。その姿を見て、これまでの歩みがどれほど尊いものであったかを、あらためて感じさせられました。

この6人は、チームの部員数が少なかった時代を支えてくれた存在です。人数が足りず、やったことのないポジションを任されることもありました。ケガを抱えながら、それでもグラウンドに立ち続けた選手もいました。思うような結果が出ない時期もありましたが、彼らは決して下を向かず、チームのために戦い続けてくれました。

苦しい時代を逃げずに支え続けてくれたからこそ、今があります。現在、本校野球部はスタッフを含めると30名を超える組織へと成長しました。しかし、その土台を築いたのは間違いなくこの6人です。

彼らが流した汗と、積み重ねてきた努力があったからこそ、仲間が増え、チームの雰囲気が変わり、結果にもつながっていきました。この数年、私たちは常にトーナメントの上位へと進出することができました。その背景には、苦しい時代を知る彼らの粘り強さと覚悟がありました。勝負どころで踏ん張れる強さは、決して偶然ではありません。土台を作った世代の存在があったからこそ生まれた力です。



6人の卒業生の皆さん、本当にありがとうございます。

皆さんが築いてくれた南商野球部の文化と誇りは、確実に後輩たちへと受け継がれていきます。それぞれの新しいステージでの活躍を、心から願っています。

卒業おめでとう！！



令和8年2月24日「溶かせ！青春バター！！」

スケート部を応援！！



2月21日から22日にかけて開催された高校スピードスケートの選抜大会は、野球という春の選抜甲子園大会にあたる位置づけで、スケート部にとって非常に重要な大会です。日頃から切磋琢磨している南商スケート部の仲間たちが、その大舞台上で戦う姿を、自分たちの目でしっかりと見たいという思いで会場へ向かいました。

当日は、応援ボードを作り、「溶かせ！青春バター！！」(スケートにかける熱い思いを表現した応援テーマ)の言葉とともに、南商スケート部の選手たちへ精一杯の声援を送りました。リンクを滑り抜ける選手たちのスピードは想像をはるかに超え、風を切る音とコーナーでの迫力に、思わず息をのむほどでした。一瞬の勝負にかける集中力、スタートからゴールまでの緊張感、そして仲間と支え合う姿は、野球とは競技こそ違えど、同じ高校スポーツの熱さを強く感じさせてくれました。



特に南商スケート部の選手たちは、自信に満ちた表情で堂々とリンクに立ち、全力で滑る姿がとてもしっかりと、まさに輝いていました。苦しい練習を積み重ねてきたからこそ出せるスピードと気迫に、私たち野球部も大きな刺激を受けました。他競技を直接見ることで、自分たちの取り組みを見直すきっかけとなり、「もっと声を出そう」「もっと一球に集中しよう」「もっと仲間を信じよう」と、部員一人ひとりの心に火がついたように感じます。



今回の経験は、野球の技術だけでなく、競技に向き合う姿勢やチームの在り方を学ぶ貴重な機会となりました。南商の仲間たちがそれぞれの舞台上で輝く姿を誇りに思い、私たち野球部も春に向けてさらに努力を重ねていきます。

スケート部のシーズンはこれでおしまい！今度は野球シーズンが始まります！実は南商野球部にはスケートと二刀流の選手がいます！これからは野球に移行。少し休んで、今度は土のグラウンドで青春しようぜ！！

令和8年2月5日 検定が終わったら…次は定期考査。

簿記検定、商業経済検定が一段落し、野球部の活動も次の段階へと進んでいます。検定期間中は、授業後や放課後の限られた時間を使い、勉強と練習の両立に真剣に取り組んできました。思うように練習時間が確保できない日もありましたが、それぞれが「今やるべきこと」を考え、短い時間でも集中して練習に取り組む姿が多く見られました。検定という一つの目標に向かって努力した経験は、必ず野球にも生きてくるはずです。

南商野球部では、冬の検定シーズンを「我慢の時期」と捉えています。ただ野球だけに打ち込むのではなく、商業高校生として検定に挑戦し、学業と部活動の両立を目指すことが南商らしさです。練習量が制限される中でも、体力づくりや基礎練習、個々の課題克服に意識的に取り組み、質を高める工夫を重ねてきました。勉強と野球の両方に全力で向き合う姿勢こそが、人としての成長につながると信じています。

もう少しで学年末考査を迎えます。検定を終えた今、次は日々の学習の成果を発揮する大切な場面です。忙しい中でも計画的に学習を進め、最後まで手を抜かずに取り組んでほしいと思います。これまでの努力を見ているからこそ、選手一人ひとりに大きな期待を寄せています。

勉強も野球も、どちらも簡単な道ではありません。しかし、困難な状況の中で努力を続ける経験は、必ず将来の力になります。南商野球部は、これからも「文武両道」を大切にしながら、チームとして、そして一人の人間として成長していくことを目指していきます。

令和8年1月27日 遊んでばかりいるわけではない。

年が明け1か月が過ぎようとしています。前は色々イベントを紹介しましたが、もちろんそういうイベントはたまにあるだけで、基本的には日常は練習をしています。今は冬なので、校内やビニールハウスでの練習など限られた環境で工夫しながら鍛錬を重ねています。

1月2月のテーマは「スピード」。11月12月でつけてきたパワーをスピードに変えていく時期と位置付けています。ですから、同じ走るメニューにしてもロングランからショートダッシュに変わったり、インターバル走の秒数が1分から55秒に短くなったり…（今後もより短くなる）少しずつ今までのメニューとは変わってきています。



←インターバル走を終えた選手たち。つらそう。がんばった。

Hokkaido Obihiro South Commercial High School

下の写真はスタートの練習をしています。先日トレーニングコーチからスタート時の体の使いかたを習いました。その徹底を図っています。



室内練習場では、オフに入って初めてマシンバッティングを導入。久々だったので苦戦していましたが、トレーニングの成果も実感しているようでした。



下は、「野球体操」とよばれるトレーニングです。5kgのプレートを動かしながら野球で使う動作の基礎を作っていきます。



そして、雪かきをして（校務補さんのお力もかなりお借りして・・・）内野フィールドの大きさぐらいあるスペースを作りました。ここではキャッチボールやボール回し、バント処理、関係プレーなどを練習します。



雪かきをしているマネージャー。もちろん、選手も監督も総出でやりました。公務補さんには大変お世話になりました！ありがとうございました。

忙しい日々が続きますが、しっかり練習して新シーズンに備えます！

令和8年1月13日 新年第一号！ 今年もよろしくお祈いします！！

明けましておめでとございませす！今年もよろしくお祈いませす！令和八年は午年ですな！
冬休みに入り、なかなかHPがアツプできませんでした。昨年末からのイベントをご紹介いたしませす。

① クリスマス会



昨年12月25日の午後からは、南商野球部クリスマス会！みんなでクリスマスケーキを…と思いましたが、予算オーバーのためアイスを食べてメリークリスマス！

いつになく(?) 真剣な顔！なにをやっているのかというと…

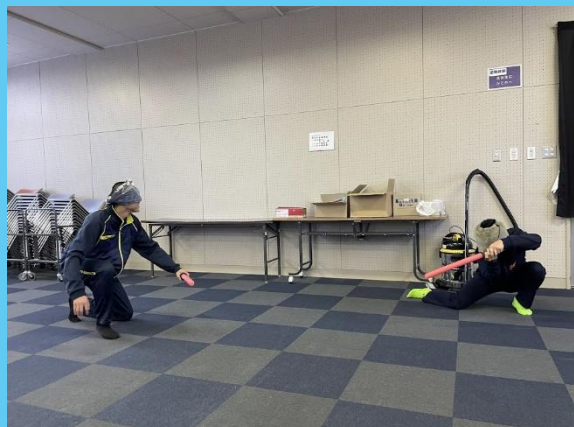


ビンゴ大会~♪



自分たちで景品を用意して楽しませました~

そして、最後はなぜか「気配切り」。大盛り上がりで今年の労をねぎらいました！



② 新年初詣



1月7日、野球部で初詣に行ってきました！毎年恒例行事として、みんなで神様に今年一年の無事の活動と飛躍を祈願します（社中の祈祷の様子は写真がとれませんでした💧）。その後、全員で記念撮影をして、おみくじを引いたり、改めて参拝したり・・・それぞれにお参りをしました。

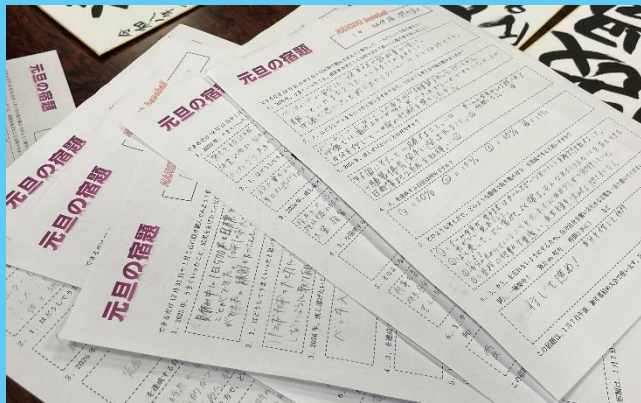
写真のキャプテンのおみくじは「大吉」。ちなみに監督のおみくじも「大吉」。今年はいま年。駆け上がるぞ！



③ 書初め大会

帰ってきてからは、南商書道部のご協力をいただきながら、書初め大会を行いました。本校の書道部はいろいろなところで活躍しています。校外展を行ったりイベントで書道パフォーマンスを披露したりしています。

そんな書道部の皆さんとコラボ企画ができないかと考案したのが、この書初め大会。冬休み前に出していた、「元旦の宿題」をもとに、忙しい書道部の皆さんに教えてもらいながら、自分の今年の決意を色紙にしたためました。



←元旦の宿題。これをもとに2026年の決意を決定！



書道部のみなさん



書道部員の皆さんに教えてもらいながら書いていきます。





書道部の皆さんも一緒にやってくれました。



これは書道部の皆さんの作品。

うまい、ヘタは別として… (笑) それぞれの個性や気持ちがよく出た書がズラリ！一年の計は元旦にありといいますが、今年の活動がこの決意通りに行くことを祈念して、楽しみにしています。



監督賞は「勝ちにこだわる」「圧倒」「貫打心」

部長賞は「健勝」「完遂」

ということで、年末から年始にかけてイベントを行いました。遊んでいるようにも見えますが、これにはちゃんと目的があります。これらのイベントはそれぞれ「イベント企画係」が任命されて、その人たちを中心に2週間ほどかけて、企画されていきます。イベントを実行するほうというのはなかなか段取りが大変で、きちんとしたプラン建てがないと時間がグダグダになり楽しめません。そういう企画力をつけてほしいと思い、冬期間はイベントをやるようにしています。そして、もう一つ！「他喜力」の向上です。イベントを企画する人たちは、自分たちが楽しんではいけません。人に楽しんでもらうということが大切です。そのためには何をしたらいいのか、どんな風に進めたらいいのか、よく考えてもらいたいと思っています。

普段、何気なく参加している学校行事や校外の行事はすべて誰かが綿密なプランを立てて実行してくれています。それを感じてもらいたい！そして、感謝の心を忘れないでもらいたい！ということで、次のイベントは2月、卒業生送別イベント企画！お楽しみに～！

令和7年 12月16日 高野連事業 慶応大学堀井監督講習会

大雪が降りましたね！去年は年が明けてからの大雪だったので、今年は降雪がずいぶん早い気がします。でももう12月ですからね。雪が降ると、ハウスが耐えられるか毎回心配になりますが、今回も大丈夫でした。

さて、先週末、高野連の事業の一環で、慶応義塾体育会野球部監督 堀井 哲也氏による講演会（土曜日）、実技講習会（日曜日）が行われ、本校野球部からは2名が実技講習会に参加。いろいろと学びが深かったようです。慶応大学野球部の現役選手2名も実技講習会に参加し、いろいろなことを教えてくれたようです。

指導者が参加した講演会では、堀井氏から興味深い話をたくさんいただきました。最後に質問をしましたが、「今までの監督生活でこの選手はよかったという選手はいますか？」という質問をしました。その中で、オリックスに入った2名の選手をご紹介いただきました（堀井監督は、慶応大の前に社会人野球の監督も歴任しています）。

一人は田島投手。アマチュア時代にプロの2軍チーム（といってもものにバリバリ一軍で活躍する選手たち）との練習試合で1イニング一球もかすらずに3三振を奪ったそうです。それでも、その後アドバイスを素直に聞き、フォーム改造に取り組んだそう。素直な選手で、よくなることに貪欲だったとおっしゃっていました。

二人目は西野選手。西野選手はアマチュア時代、監督曰く「ホント、普通の選手」だったそうです。ただ、どんな練習でもどんな瞬間でも絶対に手を抜かなかったそうです。全力疾走や基礎練習でも最初から最後まで全力。結果、今オリックスの野手陣で最年長選手となり、チームの信頼を集める名選手となりました。

野球は、本当に人間性がよく出るスポーツだと思います。早熟の選手もいれば、晩成型の選手もいると思いますが、我々が今やっているのは「高校野球」。決して完成を目指すカテゴリーではないのです。未熟なので失敗もあるでしょう。でも、問題はその失敗を失敗で終わらせない人間性。物事をきちんと見つめ、それに向かい合い、試練を超えていく粘り強さと責任感があるかどうかで大切です。そしてそういう人は、出会う人に恵まれると思います。そして、信頼を集め好かれます。南商野球部の選手マネージャーたちにはそんな風に育ってほしいと思います。

令和7年12月10日 下宿クラブ

年の瀬も迫ってまいりました。今年も残すところあと20日ほど。2025年もあっという間に過ぎていきま
すね。

さて、南商野球部下宿クラブは2025年総決算&忘年会を行いました☆

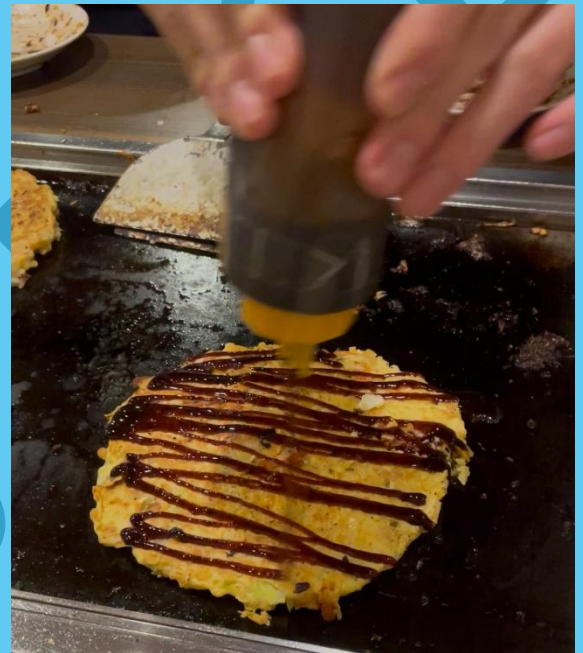
下宿クラブとは、本校野球部に所属する部員で親元を離れて暮らしている選手で構

成する部活内クラブのことです。発足当初（2021年）は2名しかいなかったのですが、月に1回みんな

でごはんでも食べよう！！と言って始まったのですが、現在総
勢7名となり、なかなかの規模になってきました。月に一回・・・
といたいところなのですが、なかなか時間が取れず、今回の
開催は8月以来、3か月振り。この下宿クラブは時々「サウナ
クラブ」と名を変え、みんなでサウナに入りに行きます（もち
ろん希望者のみ）。

今回の総決算&忘年会はいつもお世話になっているお好み
焼き道頓堀さまにお世話になりました。お忙しい土曜の夜にお
邪魔しましたが、快くご対応いただきました。ご丁寧な接客、
ありがとうございました。

おかげさまで、おいしいお好み焼きに舌鼓を打ちながら、い
ろいろな話に花が咲きました。進路のこと、野球のこと、普段
の生活のこと…。お好み焼きやもんじゃ焼きの作り方も上手に
なってきましたね。ソースやマヨネーズのかけ方も写真の通り
上達してきました。



次回の開催は1月！！サウナクラブになります。なんと、屋外のサウナ施設に行きますので、サウナからの雪
ダイブができるらしい！！楽しみです～！

うちの選手たちは、サウナクラブに限らず、サウナ好きが多いです。特に投手陣には多いような…。監督もサ
ウナ好き。現下宿&サウナクラブ会長のKくんは昨年サウナに行った後、練習試合で無双のピッチングを披露し、
投手として覚醒した大きなきっかけを作りました。サウナと運動の関係性をちゃんと調べたり研究したりすると
面白いかもしれませんね。

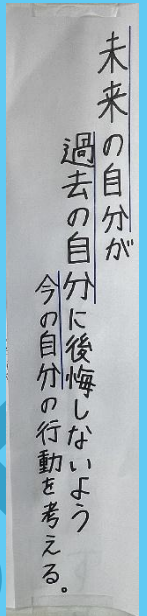
令和7年12月4日

「未来の自分が過去の自分に後悔しないように、今の自分の行動を考える。」

こんにちは！雪が積もり、一気に冬化粧となった野球グラウンド。12月はパワー期と位置づけトレーニングに励む選手たちもパワーアップに磨きがかかってきています！

さて、今日のテーマは上の言葉。あるクラスではそれぞれの目標が張られていたのですが、その一つです。高校生なので、多くは「JKライフを楽しむ！」とか「テストで〇〇点を取る！」とか「〇〇大会で××位になる」とか書かれています（もちろん、それも素晴らしい目標）、上の目標に目を奪われました☆

「未来の自分が過去の自分に後悔しないように、今の自分の行動を考える。」これを見ただけで眠たい時やだらけたいときも「びしっ」としそう。これを書いた生徒は、「私のモットーなんです！」と言っていました。これは、勉強にも、もちろん野球にも当てはまる大切な考えですね。努力をするときには、3つの視点が大事です。「未来」「過去」そして「今」。今やりたいことを、未来のことを考えずにやっているということは、努力ではありませんね。今日のミーティングではそんなことも選手たちに話そうと思います。さ、未来の自分のために、今日も練習頑張ろう！



令和7年11月26日

ただいま野球部は二学期期末考査のテスト期間に入っております。高校野球をやっていると、シーズン中の考査はだいたい大会とまるかぶり🌀で選手たちは悪戦苦闘します。しかし、オフシーズンに入るとじっくりしっかり勉強できますので、選手たちも今回は気合を入れて取り組んでいるのではないのでしょうか。

私（監督）がミーティングでよく話すことの一つに、「勉強は大事だよ」という一言があります。学生にとって勉強は大事です。勉強するということは、知識や技能を身に付けるということです。これらが人生の基礎の幾分かを占めます。特に、南商は多くの技能を身に付けられる学校です。それらを身に付けないで外に出ていくということは・・・どうなるか想像できますよね？

勉強はやるべき時にしっかりやっておかなければいけません。やっていなかった私（監督）には、大きな後悔とハンデが残りました。教員になったいまでも、そのハンデに苦しむことが多々あります。勉強は大事ですよ。そして、それによってもたらされる知識や技能を甘く見てはいけませんよ！野球でつけた人間力を勉強に活かすとき！頑張れ、野球部！！

令和7年11月21日

今年に入り、早11か月が過ぎようとしています。おかげさまで本校野球部は1年生16名、2年生11名、3年生4名、マネージャー4名の計35名のチームになりました★みなさまのご協力・ご指導あってのものと思っております。ありがとうございます。

この間、苦しいこともありました。部員数が激減し、大会出場もままならない時もありましたが、そこはさすがの南商パワー。OB、OGの皆さん、後援会の皆さん、地域の皆さん、そして、南商野球部ファンの皆さんのご協力・ご支援のもと復活を遂げました。今後ご支援・ご協力を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

久々の更新になりますので、ここ数か月の活動状況をお知らせします！

1. OB戦の開催（8月）

本校野球部のOBは十勝において、超強力！！南商卒ならではの企業様や野球部OBで現在十勝・北海道に貢献してらっしゃる皆様が、この日は若かりし頃のままグラウンドに集結！現役南商チームとOB戦を行いました。OBチームのノッカーは元監督の清水さんが！！かつての猛者たちが震え上がる(?)ノック・・・ではなく、和気あいあいと懐かしいひと時を楽しんでいただきました！また来年よろしくお願いいたします！



2. 秋季大会

秋季大会が行われました！代表決定戦まで進出しましたが、残念ながら VS 白樺学園高校0-3。大和ハウスプレミストドーム（旧札幌ドーム）で行われた全道大会には駒を進めることができませんでした。次は、来年の春季大会！今度こそ、代表になるぞ！！

■十勝支部予選 Bブロック（決勝）

球場：帯広の森野球場

プレーボール 12:12 ゲームセット 14:15 試合時間 2時間3分

帯広南商 0 0 0 0 0 0 0 0 0

白樺学園 0 0 0 1 0 1 0 1 x 3

帯広南商 掛下、櫻庭(8回)一渡邊礼

白樺学園 窪田、玉手(6回)、小林(9回)、鎌仲(9回)一山田、関口(6回)

二塁打 金井(8回)、河嶋(8回)

Hokkaido Obihiro South Commercial High School

ードに入りました★これからは11月12月のパワーアップ期を迎えます！来年春のバージョンアップした野球部メンバーたちに期待です！！



NANSHO BASEBALL